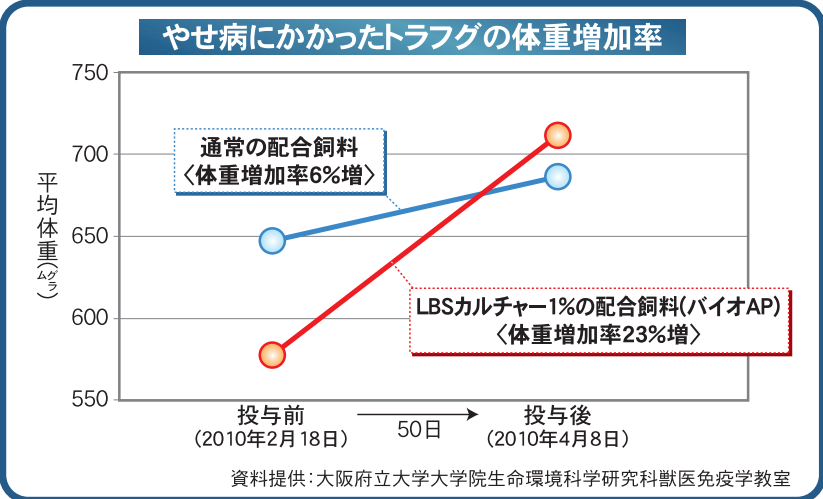


トラフグのやせ病対策に

養魚用サプリメント「バイオAP」

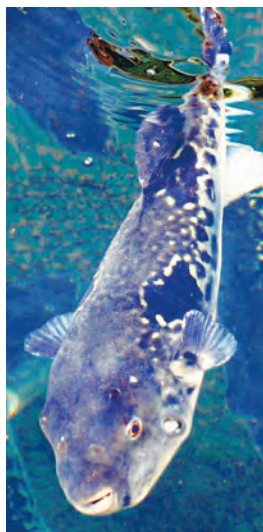
【大阪】イケスの中のトラフグをガリガリにやせさせ、最悪の場合は死に至らせる「やせ病」。治療のために承認されたワクチンや抗生物質は一切なく、感染による大量死が養殖業者の経営に深刻なダメージを与えるケースもみられる。そんな難病の抑制に役立つと期待される養魚用サプリメント（栄養補助食品）が登場した。大阪府立大学大学院生命環境科学研究科の児玉洋教授（獣医学博士）が行った実験では、同サプリメントの主成分「LBSカルチャー」を含む配合飼料「バイオAP」の投与によって、やせ病の症状が現れたトラフグの割合が減少。さまざまな魚種で自然免疫を高め、魚病に対する抵抗力を付けるのに役立つと、養殖関係者の注目を集めている。



やせ病のフグに与えると春になってもほとんどやせ症状が現れなかった

(児玉教授が三重県の養殖場で実験)

(写真提供：大阪府立大学大学院生命環境科学研究科獣医免疫学教室)



やせ症状が現れなかったトラフグ



やせ病を発症してガリガリにやせたトラフグ

LBSカルチャーは有機栽培コメぬかを含む培地で乳酸菌、酵母のピチアとサッカロマイセスを培養。熱処理して乾燥させた自然由来の発酵産物だ。ベンチャー企業のリタニアルバイオサイエンスが兵庫県加古川市で製造し、アペックエート(大阪府)が養魚飼料用添加物として、4月から本格販売を始めた。

リタニアル社はLBSカルチャーを配合した家畜飼料用添加物、ヒト用サプリメントの製造や研究開発も手がける。

児玉教授らは2010年2月18日から4月8日まで、三重県の養殖場でやせ病を起こす粘液胞子虫が腸に寄生したトラフグ161尾を2群に分け、63尾はLBSカルチャーを1%加えた配合飼料を投与。98尾は通常の配合飼料だけを与えた。やせ病は水温が上がる春以降に症状が現れる。

中の雰囲気だ。養魚用ワクチンはふぐ目魚類が少なく、特定の病気にしか効かない。魚に普段からサプリメント的な食品を与えることが期待できると考えられる。LBSカルチャーはコメぬか発酵液を高圧滅菌処理して乾燥させたもの。LBSカルチャーを配合した飼料

モイスト用とEP用を販売

常温で長期間保存可能

アペックエートが販売するLBSカルチャー配合飼料用添加物は、モイスト用の「バイオAP100」(内容量5kg)と配合飼料(EP)用の「バイオAP1600」(内容量1kg)がある。市販用EPにはバイオAP1600を水で溶いて吸着させ、使用できる。

幅広い魚種に 同社は長崎、熊本、大分、宮崎のフグ養殖業者と提携し、バイオAPを与えたデータを収集中。「フグ以外の魚種もモニター試験を増やしたい。データをといたく代わりにはバイオAPをお得なモニター価格でご提供するのでは、お気軽にお問い合わせを」と同社。

水産庁助成 事業候補に

水産庁は3月30日、アペックエートを2011年度革新的養殖システム開発促進事業の助成対象候補者に選んだ、と発表した。交付申請書の審査を経て、正式に助成対象に決ま



児玉洋教授

大阪府立大学大学院 生命環境科学研究科

トラフグの粘液胞子虫に有効なワクチンや

抗生物質はない。そも、休薬期間が必要な上、て自然免疫を高めてお

魚本来の自然免疫高め

粘液胞子虫によって腸の組織が壊され、栄養が吸収されなかったり、水分調整ができなくなったりする病気を考えられている。対象に水産庁が承認した水産用医薬品はほと



バイオAP1600 (1kg入り)



バイオAP100 (5kg入り)

詳しくは **アペックエート株式会社** [検索](#)

大阪府大阪市中央区島之内1丁目22-20 堺筋ビルディング5階
 TEL:06-6125-5441 FAX:06-6125-5442
 URL:http://apec-ate.com/